

皆さんおはようございます。校長の長谷部 元祥です。

今年も よろしく願いいたします。

さきほど、紹介のあった新着任の先生方と午後には、240名の新入生を迎え、今日から令和5年度がスタートしました。皆さんと一緒に、さらに、尼西を活性化させたいと思います。よろしく願いします。

今年の始業式にも話しましたが、

私は、大阪の私学から教員生活を始めて、尼崎工業、県尼、東灘、市尼、尼小田、川西北陵、川西みどり台、県尼、尼北と11校の高等学校で勤務しました。そして尼崎西高校2年目を迎えました。まして、昨年60周年を迎え、今新たに歩み出した尼崎西高校で新学期を迎えることができたことを感謝しております。

尼崎の高校での教員生活が長かったので、尼崎はじめ阪神という土地が大好きです。

さて、今年の尼西の生徒の皆さんの評価です。

人と比べても仕方ないことですが、尼西の皆さんには、本当に素晴らしい面がたくさんあります。具体的に言うと、素直で、真面目、謙虚、正義感があり優しいなど本当に素晴らしい。

この素晴らしい面を、さらに伸ばし開花させ、一流にさせることが、私たち教員の仕事であると再確認いたしました。

本年度のはじまりとして、昨年と同じく、今日から取り組んで欲しいことを一つだけ、再度お願いします。

昨年にできなかった人も、昨年できた人も、初心に戻り実践してください。もう一度、具体的に説明します。

例えば、今日、朝起きて、家族の人に、「おはよう、いただきます、行ってきます」挨拶できましたか。皆さんが、今まで生活することができ、今こうして学校で学ぶことができるのは、誰のお陰であるかを考えたことがありますか。もちろん、中学校の先生方や関係者の方々のご協力は、あったはずです。しかし、一番は、皆さんに注がれた、ご家族の限りない愛情ではないですか。その愛情に対して、感謝していますか。恥ずかしいかも知れませんが、「ありがとう」と心を込めて今日、必ず言いましょう。誰に対して言うかは、みなさんが決めてください。心を込めた感謝の言葉は、必ず、相手の心に響きます。相手も心が満たされます。

相手を心から満足させる原因を作れば、今度は、皆さんも、満足させてもらえる言葉が返っ

てくると思います。「情けは人のためならず」今一度、意味を調べ探究してください。

今日から、真面目に、あたりまえのことをあたりまえにする。

まとめてみると

それは、本校の校訓である「法(のり)を敬う」「事を正しくする」「友情を厚くする」のもと、自分の本分が、何であるかを探究して、

凡事徹底に取り組んで欲しいということです。

凡事徹底とは、なんでもないような当たり前のことを、徹底的に行い、極めて他人の追従を許さないことです。つまり、徹底すれば、一流に必ずなります。これは、歴史が証明し、最近ではデータサイエンスといった学問が新しく作られ、科学的に証明されようとしています。

昨年の始業式から、実践できた人は、もう、実感しているはずです。

具体的に、自分の今の状況を分析してください。

必ず結果が出ているはずです。自分の置かれている環境が、改善されているはずです。ただし、平凡で当たり前のことほど、非凡であり、難しいのですがね。継続は力です、

今から始めてみましょう。こつこつお互い頑張りましょう。

今日の初心を忘れることなく、失敗を恐れず、何事にもチャレンジしてください。失敗したら私たち教職員が、皆さんを支えます。大丈夫です。安心してください。皆さんに、期待しています。まずは、今年一年の皆さんの成長の結果が楽しみです。

以上をもちまして、始業式の挨拶とします。